

エコアクション21 環境経営レポート 2024年度版

運用期間

2024年4月1日～2025年3月31日



東邦樹脂工業株式会社

2025年6月18日発行

1. 事業の概要

- 【 会 社 名 】 東邦樹脂工業株式会社
- 【 代 表 者 名 】 代表取締役社長 菅野 文雄
- 【 所 在 地 】 本社・本社工場：栃木県下都賀郡野木町野木148番地
- 【 関 連 事 業 所 】 東京営業所：東京都中央区日本橋本町1-7-4 岡本ビル9F
- 【 環 境 管 理 責 任 者 】 管理部 部長 青木 啓一
- 【 事 務 局 】 管理部 係長 上口 高広
- 【 連 絡 先 】 電話：0280-56-1011
FAX：0280-56-2436
E-mail：t.ueguchi@touhoujushi.co.jp
- 【 事 業 内 容 】 ラミネート包装資材、産業資材用包装資材及び医薬品・衣料品用包装資材、及び食品用包装資材等の製造販売・設計
- 【 事 業 の 規 模 】 2024年度（2024年 4月～2025年 3月）
資本金 1 億円
売上高 4,067 百万円
従業員数 129 名
（本社工場 115 名・東京営業所 14 名）
敷地面積 26,000m²
床面積 10,600m²

2. 対象範囲（認証・登録範囲）

1. 活動内容

ラミネート包装資材、産業資材用包装資材及び医薬品・衣料品用包装資材、及び食品用包装資材等の製造販売・設計

2. 対象サイト

本社工場

所在地：栃木県下都賀郡野木町野木148番地

従業員数：115 名

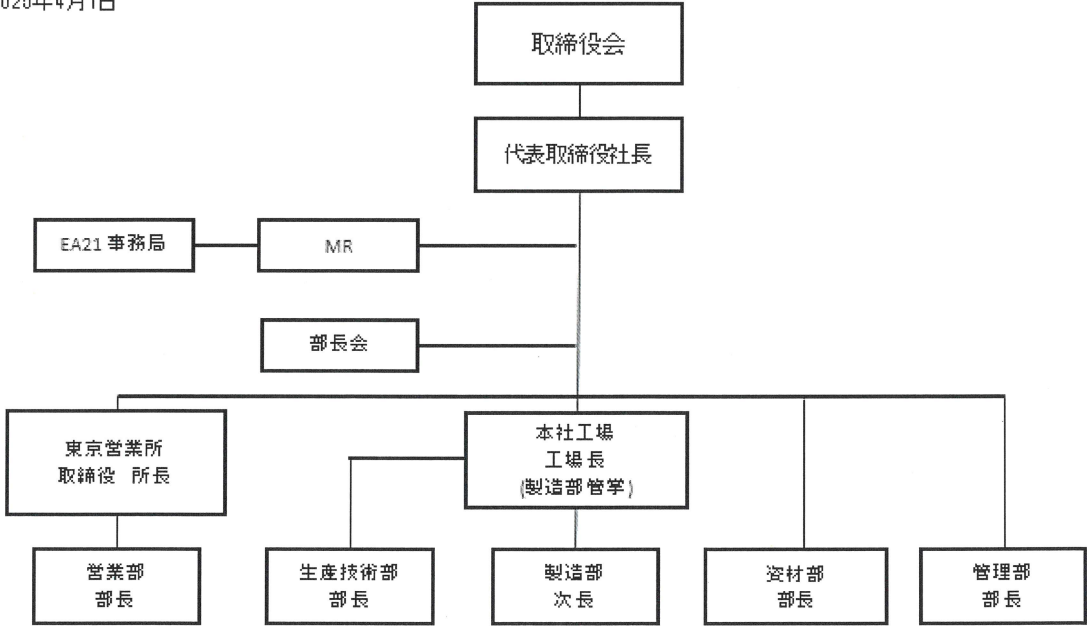
東京営業所

所在地：東京都中央区日本橋本町1-7-4 岡本ビル9F

従業員数：14 名

3. 実施体制

環境組織図
2025年4月1日



3. 環境経営方針

環境経営方針

当社は、食品及び医薬・医療用品等のための軽包装材料、手提げ袋及びテープ用基材等の産業資材の製造及び販売を事業としており、創業以来、製品を通じて社会の利便性向上に貢献してまいりました。

しかし、その一方で、石油資源や電力エネルギーの消費、設備からの排ガスや廃棄物の排出等によって、地球環境に少なからぬ負荷を与えてまいりました。

当社は環境マネジメントシステムを効果的に運用することによって環境負荷の軽減を図り、地域社会との融和に向けて取り組むと共に、より多くの利害関係者の方々から信頼される企業へと発展することを目指します。

1. 「大気汚染防止法」をはじめとして当社に適用される環境に関する法的要求事項、並びに当社が同意する環境に関するその他の要求事項を遵守します。
2. 環境マネジメントシステムを効果的に運用し、継続的に改善します。
3. 当社の活動、製品及びサービスに起因する環境汚染の予防に努めます。
4. 環境目標を設定し、環境改善に取り組み、その成果を定期的に評価して環境目標の見直しを行います。
5. 当社のすべての活動において、省エネルギー及び省資源を推進します。
6. ゴミの適切な分別と共に、リデュース、リユース、リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。

この環境経営方針を文書化し、全社員及び当社のために働くすべての人に周知させます。

東邦樹脂工業株式会社
代表取締役社長

菅野 文雄

4. 環境経営目標

本社工場

2022年度の実績を基準として、2025年度までの目標を下表に示す。

環境目標	課題（何を）	2022年度の実績を基準（BM）とした環境目標					
		単位	基準 (BM)	目標			
			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
二酸化炭素排出量 （エネルギー使用量）を 2025年までに、 2022年度対比 3%削減	電気使用量の 削減	kWh	5, 159, 211	5, 107, 619 99%	5, 056, 027 98%	5, 004, 435 97%	
	ガソリン使用量の 削減	L	361	358 99%	354 98%	351 97%	
	LPG使用量の 削減	m³	123, 531	122, 296 99%	121, 061 98%	119, 825 97%	
	軽油使用量の 削減	L	4, 142	4, 101	4, 059	4, 018	
	エネルギー 原単位	kL	1, 667	1, 650 99%	1, 633 98%	1, 617 97%	
	二酸化炭素排出量 の削減	kg-CO2	2, 975, 788	2, 946, 030 99%	2, 916, 272 98%	2, 886, 514 97%	
	産業廃棄物の排出量を、 2025年度までに 2022年度対比 3%削減	廃プラスチック類 の削減	kg	1, 057, 665	1, 047, 088 99%	1, 036, 512 98%	1, 025, 935 97%
		廃プラスチック類 の削減	kg	56, 512	55, 947 99%	55, 382 98%	54, 816 97%
燃えがらの 削減		kg	4, 720	4, 673 99%	4, 626 98%	4, 578 97%	
廃棄物合計 数量		t	1, 119	1, 108 99%	1, 097 98%	1, 085 97%	
水使用量を、2025年度までに 2022年度対比 3%削減		水使用量の 削減	m³	9, 662	9, 566 99%	9, 469 98%	9, 373 97%
		化学物質使用量を、 2025年度までに 2022年度対比 3%削減	トルエン使用量の 削減	kg	12, 886	12, 757 99%	12, 629 98%
グリーン調達 コピー用紙購入量を、 2025年度までに 2022年度対比 3%削減	バージンパルプ コピー用紙 購入量の削減	枚	582, 500	524, 250 90%	466, 000 80%	407, 750 70%	
	ポリエチレンロス、 2025年度までに 2022年度対比 3%削減	ポリエチレンロス の削減	kg	391, 987	388, 067 99%	384, 147 98%	380, 227 97%
基材ロスの削減		m	3, 618, 788	3, 582, 600 99%	3, 546, 412 98%	3, 510, 224 97%	

電気の二酸化炭素排出量は、排出係数 0.459（2022年度）を使用。

東京営業所

2022年度の実績を基準として、2025年度までの目標を下表に示す。

環境目標	課題（何を）	2022年度の実績を基準（BM）とした環境目標				
		単位	基準 （BM）	目標		
			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量 （エネルギー使用量）を 2025年までに、 2022年度対比 3%削減	電気使用量の 削減	kWh	43,889	43,450 99%	43,011 98%	42,572 97%
	二酸化炭素排出量 の削減	kg-CO2	19,399	19,205 99%	19,011 98%	18,817 97%
	水使用量を、2025年度までに 2022年度対比 3%削減	㎥	153	151 99%	150 98%	148 97%
	グリーン調達 コピー用紙購入量を、 2025年度までに 2022年度対比 3%削減	枚	138,000	124,200 90%	110,400 80%	96,600 70%
環境に優しい 商品の販売	コーティング製品 の販売件数	件				

5. 主な環境活動計画内容

1. エネルギー使用量の削減、二酸化炭素排出量削減

電力使用量、液化石油ガスの使用量の削減

- ・空調温度設定冷房26℃、暖房23℃
- ・クールビズの推進
- ・不在時の消灯
- ・OA機器・PC未使用時の電源OFF
- ・エアコンのフィルター清掃
- ・エコドライブの推進
- ・照明器具のLED化
- ・エアーコンプレッサーを高効率タイプに更新
- ・エアーコンプレッサーのエアー漏れ点検、長時間不使用時はエアー配管閉
- ・不使用時電源OFF
- ・空調設備の更新
- ・予防保全、定期機械点検の実施

2. 産業廃棄物の排出量削減

- ・廃棄物の小まめな分別を行い、出来る限り再資源化を進める。
- ・原材料／基材ロスの削減、異常品（不良ロス）の削減。

3. 水使用量の削減

- ・節水の徹底
- ・配管の漏水チェック補修

4. トルエン含有AC剤からトルエン不使用のAC剤への切り替え

5. バージンパルプ100%コピー用紙購入削減

- ・コピー用紙の裏面利用

6. ポリエチレンロスの削減、基材ロスの削減

- ・リード紙の有効利用
- ・初物検査の徹底
- ・パーグレジンの使用
- ・生産予定の効率化

7. 環境にやさしいコーティング商品の販売促進

地球環境の「これから」を考える、「エコートTJK」
ヒートシールコーティング

基材である紙に対して、従来のシーラントとしての役割であるフィルムや押し出し樹脂を使用せずに、特殊な水溶性エマルジョンコーティングにより、その面同士をヒートシール（熱圧着）で貼り合わせ可能な製品です。



6. 環境経営目標の実績

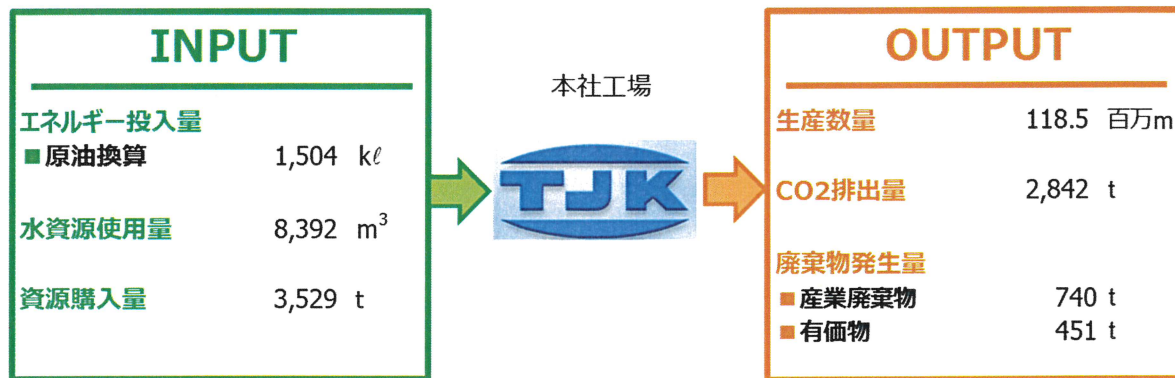
2022年度基準の削減目標に対する実績（2024年4月～2025年3月）は以下の通り。

本社工場

目標達成率評価【○：100%以下△：100～120% ×：120%以上】

課題（何を）	単位	2024年度目標	年度実績	目標比 %	年度 評価
		2022年度比			
電気使用量の削減	kWh	5,056,027 98%	4,632,930	92%	○
ガソリン使用量の削減	L	354 98%	344	97%	○
LPG使用量の削減	m ³	121,061 98%	113,547	94%	○
軽油使用量の削減	L	4,059 98%	4,004	99%	○
エネルギー原単位換算	kL	1,633	1,504	92%	○
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	2,916,272	2,842,135	97%	○
廃プラスチック類の削減	kg	1,036,512 98%	691,140	67%	○
廃溶剤の削減	kg	55,382 98%	48,602	88%	○
燃えがらの削減	kg	4,626 98%	0 0%	0%	○
産廃物合計	t	1,097	740	67%	○
水使用量の削減	m ³	7,167 98%	6,466	90%	○
トルエン使用量の削減	kg	12,629 98%	11,990	95%	○
バージンパルプコピー 用紙購入量の削減	枚	466,000 80%	652,500	140%	×
ポリエチレンロスの削減	kg	384,147 98%	336,374	88%	○
基材ロスの削減	m	3,546,412 98%	2,924,360	82%	○

*電気の二酸化炭素排出量は、排出係数 0.459kg-CO2/kWhを使用。
*車両台数：社有車 1台（ガソリン）・運送用トラック 2台（軽油）



東京営業所

目標達成率評価【○：100%以下△：100～120% ×：120%以上】

課題（何を）	単位	2024年度目標	年度実績	目標比 %	年度 評価
		2022年度比			
電気使用量の削減	kWh	43,011 98%	35,361	82%	○
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	19,011 98%	13,296	70%	○
水使用量の削減	m ³	150 98%	155	103%	△
バージンパルプコピー用紙購入量の削減	枚	110,400 80%	150,500	136%	×
コーティング商品の販売件数	件	—	—	—	—

*電気の二酸化炭素排出量は、排出係数 0.376kg-CO2/kWhを使用。

7. 環境活動の取組み結果・評価と次年度の計画

本社工場

取組結果（目標比 ○：100%以下 △：100%～120% ×：120%以上）

	項目	取組結果	評価	次年度の 取り組み内容
二酸化炭素排出量削減に関する項目	電気使用量	○	機械未稼働時の空調 管理の徹底	継続実施
	ガソリン使用量	○	低燃費運転の取組	継続実施
	LPG使用量	○	省エネ製品（空調） への切り替え	継続実施
	合 計	○	—	—
廃棄物排出量削減に関する項目	廃プラスチック	○	有価物の分別・収集	継続実施
	廃溶剤	○	—	継続実施
	燃えがら	○	有価物の分別・収集	継続実施
	合 計	○	—	—
総排水量削減に関する項目	水使用量	○	—	継続実施
化学物質使用量削減に関する項目	トルエンの削減	○	含トルAC材使用製品 の商品受注減	更なるノントルへの 切り替えを検討
グリーン購入に関する項目	バージンパルプ 100%コピー用紙購 入量	×	オンライン会議減少 に伴う使用増	裏紙利用の徹底、業 務フローの見直しに 伴う紙回覧の減少
自らが生産・販売・提供する 製品及びサービスに関する事 項	ポリエチレンロス	○	—	継続実施
	基材ロス	○	—	継続実施

東京営業所

取組結果（○：達成 △：未達成）

	項目	取組結果	評価	次年度の 取り組み内容
二酸化炭素排出量削減に関する項目	電気使用量	○	残業時間減少に伴う 空調使用減	継続実施
総排水量削減に関する項目	水使用量	△	—	節水活動を継続
グリーン購入に関する項目	バージンパルプ 100%コピー用紙購 入量の削減	×	対顧客への訪問活動 再開に伴い増加	裏紙利用の徹底、業 務フローの見直しに 伴う紙回覧の減少
環境に優しい商品の販売	コーティング商品 の販売件数	—		

8. 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

1. 適用となる主な環境関連法規

- ・ 大気汚染防止法
- ・ 騒音規制法
- ・ 振動規制法
- ・ 廃棄物処理法
- ・ PRTR法
- ・ 毒物及び劇物取締法
- ・ 容器包装リサイクル法
- ・ フロン排出抑制法

2. 違反及び訴訟等

- ・ 当社は、環境関連法規への違反がありません。
- ・ 関係当局よりの違反などの指摘及び訴訟は、過去 3年間ありません。

代表者による全体評価と見直し（2024年度）

作成日：2025年6月18日
東邦樹脂工業株式会社

代表者氏名： 菅野 文雄

前期見直し指示・審査改善事項への取組結果		見直し指示内容		取組結果
		①		
		②		
		③		
見直しに必要な情報		項目		確認 (必要に応じて評価・コメント記載)
		1	環境への負荷の自己チェックの結果	☒
		2	環境への取組の自己チェックの結果	☒
		3	環境関連法規の遵守状況のチェック結果	☒
		4	外部からの苦情・要望とその処置結果	☒
		5	教育・訓練の状況	☒
		6	環境上の緊急事態の訓練結果	☒
		7	環境経営目標の達成状況・環境経営計画の実施状況	☒
		8	内部監査の結果	☒
		9	問題点の是正・予防の結果	☒
		10	その他	☒
今期全体評価・コメント・見直し指示	全体コメント	システムの有効性、環境への取組の適切性等		2024年度の活動では、一部項目を除き概ね目標を達成することが出来た。2025年度も一層努力し目標達成出来るよう全員で協力して推進していく。
	代表者による見直し指示	見直し項目		見直しの必要性 「有」の場合の指示事項等
		1	環境経営方針	有 ☒ 無 ☐ 環境経営方針の理念に基づき引き続き活動するものとする
		2	環境経営目標・計画	有 ☒ 無 ☐
		3	環境経営計画・取組項目	有 ☒ 無 ☐
		4	環境に関する組織	有 ☒ 無 ☐
		5	その他	有 ☒ 無 ☐